

インフルエンザについて

Q 1 インフルエンザとかぜはどうちがうのですか？

A インフルエンザは全身症状が強く、高齢者や幼児の死亡の原因にもなります。
 インフルエンザと普通のかぜとは原因となるウイルスが異なる違う病気です。通常のかぜ（普通感冒）はウイルスの種類が多く症状としては、喉が痛む、鼻水が出る、くしゃみや咳が出ます。
 一方、インフルエンザは急な高熱が特徴です。喉の痛みや鼻汁などの症状が見られますが、筋肉痛、関節痛などの全身症状が強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。さらに高齢者では肺炎、小児では脳炎などを併発し、致命的になることがあります。



	インフルエンザ	かぜ
初発症状	発熱、頭痛、悪寒	鼻咽頭の乾燥感及びくしゃみ
悪寒	高度	通常強くない
熱(期間)	38～40度(3～4日間)	38度前後程度
全身痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感	高度	軽い
鼻汁・鼻閉	後期より著しい	初期より著しい
病原	インフルエンザウイルスA、B	ライノウイルス、アデノウイルスなど
合併症	中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎、肺炎、熱性痙攣、髄膜炎など、二次感染による合併症には大きな違いはありません。	
迅速診断法	あり	なし

Q2 インフルエンザの検査方法は？

A インフルエンザにかかっているかどうかは、15分位の検査時間で簡単に診断できます。

検査方法

① 検体採取



② 試料調製



③ 試料滴下



④ 判定



Q3 インフルエンザの治療法とは？

A 抗ウイルス薬による治療を行います。吸入薬と経口薬、小児用ドライシロップがあります。
抗ウイルス薬は体内でインフルエンザウイルスの増殖を抑える薬で、病気の期間と症状を軽減する効果が優れています。
ただし、症状が出てから2日以内に服用することが必要です！
インフルエンザウイルスは体の中で急激に増殖する特徴があり、早期であればあるほど体の中にかかえるウイルスの量が少なくてすむからです。2日以内に服用を開始すれば、自覚症状の期間を短縮でき、早期に平熱まで回復し症状も軽くなります。



**熱が出たら2日以内に
医師の診断を受けましょう**

Q4 ワクチンはいつごろ接種したほうがいいのか？



A 通常11月～12月頃が望ましいでしょう。
インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまで約2週間かかります。流行期間が12月頃～3月末頃ですから、12月までには接種を終えておくことが望ましいでしょう。効果は約5ヶ月間続きます。ワクチン接種を行うことで、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。このワクチンの効果は、年齢、本人の体調、そのシーズンのインフルエンザの流行株とワクチンに含まれている株の合致状況によっても変わります。

ワクチン接種回数は・・・

- ・1回接種法（中学生以上は1回でもよい）
- ・2回接種法⇒2回目は1回目から1～4週間あけて接種します。（13歳未満は2回接種が原則です）

Q5 ワクチン接種料金は？

A 当院のインフルエンザワクチン接種料金は以下のようになっております。（9月1日からご予約を受付いたします）

- ・0～64歳：1回 1,780円
 - ・65歳以上の方：1回 1,000円（地域により負担金が異なります）
- <申し込み時のお願い>

ワクチン1本につき2名様のご接種となりますので、できましたら、偶数名様（2・4・6名...）でお申し込みしていただければ幸いです。ご協力お願いいたします。

Q6 市販のかぜ薬は有効ですか？

A 市販のかぜ薬は、熱、咳、鼻水などの症状を抑える薬です。インフルエンザに直接効くものではありません。一部の解熱剤では身体に悪影響を及ぼすものもありますので、インフルエンザの流行期に高熱が出たら、診察を受けましょう。

危険

小さな子供にアスピリン入りの解熱剤やかぜ薬を飲ませると、インフルエンザ脳症を引き起こす可能性があります。他の一部の解熱剤にも脳症の状態を悪化させるものがあるので、解熱剤の使い方は医師、看護師、薬剤師に必ず相談しましょう。



インフルエンザ脳症とは？

症状は突然の高熱に始まり、1～2日以内にうとうとした眠りから意識混濁した深い眠りにいたるさまざまな程度の意識障害を呈し、多くの場合けいれんを伴います。短期間のうちに死亡することの多い合併症です。

早めに症状をチェック!



インフルエンザを重症化させないためには初期症状のシグナルを見逃さないことが大切です。

インフルエンザ・チェックリスト

重要ポイント

インフルエンザの特徴は、この3つのチェックポイントがそろうことです。

- 地域内でのインフルエンザの流行
- 急激な発症
- 38℃以上の発熱/悪寒



その他のポイント

重要ポイントの他にも次のような症状があれば、インフルエンザを疑いましょう。

- ・ 関節/筋肉痛
- ・ 倦怠感/疲労感
- ・ 頭痛
- ・ 寝込む

また、次のいわゆる「かぜ症状」もほとんど同時か、やや遅れて現れます。

- ・ 喉の炎症
- ・ 咳/鼻汁/くしゃみ

耳鼻咽喉科はみみ・はな・のどの専門ですが、その疾患はめまい、耳鳴り、顔面神経麻痺、難聴、鼻疾患、いびき、甲状腺疾患など多岐にわたっています。

それぞれの疾患についてお聞きになりたいことがあれば、ご遠慮なく診察時にお話ください。



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生病院

札幌市中央区北5条西1丁目1-7

TEL 011(724)4122

FAX 011(724)4986

年中無休

	月～金曜日	土・日・祝日
午前	9:00～12:00	9:00～12:00
午後	13:30～18:30	13:30～18:30
夜間	19:00～20:00	休診



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生北見病院

北見市二條54-8

TEL 0157(22)4122

FAX 0157(22)2128

年中無休

	月～金曜日	土・日・祝日
午前	9:00～12:00	9:00～12:00
午後	13:30～18:30	13:30～18:30
夜間	19:00～19:00	休診



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生28

札幌市中央区北5条西2丁目2-3

※地下322ビル4階

TEL 011(64)4122

FAX 011(64)4155

日・祝休診

	月～土曜日	日曜・祝日
午前	9:00～12:00	休診
午後	14:30～18:00	



ホームページアドレス: <http://www.jibiazabu.or.jp>

